

0歳から18歳までの一貫教育のまち 『おおつち一貫教育推進』かわら版



令和4年11月17日(木) No.1
文責 教育委員会学務課 吉田

・はじめに

大槌町では、「震災後、誰も取り組んだことのない教育に我々は取り組んでいる。失敗を恐れずチャレンジしてほしい。」という伊藤元教育長のもと、「10年後、20年後の大槌の復興・発展を担う子どもたちを育てる」ために「小中一貫教育」、「コミュニティ・スクール」、「ふるさと科」に取り組んできました。そして、今や全国から先進地として一目置かれる教育を推進しています。

このことは、各学園の子どもたちの頑張り先生方が小中一貫教育に真摯に向き合いチャレンジし続けてきたこと、地域やNPO、町外教育関係者の大きな支えがあったからです。

大槌の教育は、子どもたちのために、常にリニューアルし続ける教育です。各学園の先生方、今後も思いをもってチャレンジしてください。

先日、吉里吉里学園のプレ公開で吉里吉里学園の研究主任より、「ふるさと科」にかける熱い思いが伝わる研究発表をしていただき、感銘を受けました。教育委員会では、熱い思いで新しい教育にチャレンジされている先生方を全力でサポートいたします。



・先進地から学ぶ①

去る、10月17日(月)から19日(水)まで、釜石市教育長協議会視察研修で大阪府豊能町教育委員会、豊能町立東能勢小中学校、京都市立大原学院、京都市立東山泉小中学校を視察させていただきました。

今回は、平成26年に開校し、現在義務教育学校の京都市立東山泉小中学校を紹介します。

○東山泉小中学校 5-4制 全校児童生徒759名 キーワード「繋ぐ」



1st Stage 1年生～5年生 西学舎



2nd Stage 6年生～9年生 東学舎

「繋ぐ」…①児童生徒会活動 ②ピアサポート(学年間交流 1～9年生まで一緒に体育大会) ③校務分掌の工夫、ICT活用(各ステージの主任、チーフを配置し連携して企画・立案、オンラインミーティング) ④5・6年生の教員の配置(5年生の学年主任は小学校籍、6年生の学年主任は中学校籍で担任外、6年生の学年長は9年生まで持ち上がり) ⑤学級担任制と教科担任制(5年生は担任の横持ちを中心にした教科担任制、6年生は中学校籍教員+担任の横持ちによる教科担任制)、6年生は50分授業

柿谷副校長先生との質疑から

Q 小中一貫教育のデメリットを教えてください。

A メリットしかありません。



東山泉小中学校の特色のほんの一部を紹介しました。
5-4制の強み、よさを生かした取り組みですね!!

